

## 【小論文】

### 交流協定校(中国語圏)派遣留学選考試験過去問題(2024~2026年度派遣)

#### ●2026年度派遣の出題

2023年にインドに抜かれるまで中国は長年世界一の人口大国であった。1980年代以降人口規模をコントロールするために中国政府が一人っ子政策を断行したことは周知のことである。

しかし、近年中国は日本や韓国と同じく少子化問題を抱えるようになった。2016年中国政府は一人っ子政策を廃止したが、少子高齢化の流れは変わらず、ここ数年むしろ加速化する傾向にある。2022年、中国の出生数が1949年の建国以来で初めて1000万人を割り、61年ぶりの人口減少に陥った。2024年は前の年に比べてさらに139万人減少、人口減少は3年連続となる。国連の世界人口推計によると2023年の中国の合計特殊出生率は1.00で、少子化が取りざたされる日本の1.21を下回る。

中国で急激に進む少子化の原因とその社会的影響について、あなたの考えるところを述べなさい。

#### ●2025年度派遣の出題

中国は、2014年に「反スパイ法」を制定し、2023年4月には「スパイ活動」への対策を強化する改訂を行うなど、「国家安全」に危害を及ぼす行為への対策を強化している。法律に違反したとみなされると、取調べや長期間の身体拘束を余儀なくされたり、懲役などの重い刑罰を科されたりするおそれがある。こうした背景から、2024年7月現在、アメリカ政府は、法律の恣意的な適用による不当な拘留の危険があると判断して、中国渡航について「レベル3：渡航を再考してください」と位置付けている（\*アメリカ政府は、海外渡航について、4つのレベルに分類している。すなわち、「レベル1：通常の注意を払ってください」、「レベル2：一層の注意を払ってください」、「レベル3：渡航を再考してください」、「レベル4：渡航を止めてください」）同様に、カナダ政府とオーストラリア政府は、中国渡航について、「レベル2：細心の注意を払ってください」と位置付けている。

では、具体的に、どのような行為が、中国の「国家安全」に危害を及ぼす行為とみなされるのか、予測していくつか述べなさい。

#### ●2024年度派遣の出題

近年、日本では食品ロスを減らす取り組みが行われているが、中国でも2021年に「反食品浪費法」が可決され、食品を過度に残さないよう促す法律が施行された。このことが中国の社会、経済、政治、文化等に与える影響について、あなたの考えるところを述べなさい。